

新庁舎建設事業 ～“サスティナブルな庁舎”へ～

庁舎は、災害対応の指揮、情報伝達を担う住民の安全を守る防災拠点です。

財政状況から一次事業を中断することもありましたが、建設50年が経過し、耐震性がない現役場庁舎を“次世代に課題として先送りをするわけにはいかない”という思いで、事業を実施しています。

このような思いに賛同いただける企業のみなさまと島本町らしさを残した“新たな町のシンボル”を創っていきたいと思っています。



新庁舎イメージ図

1. わかりやすく利用しやすいコンパクトな庁舎

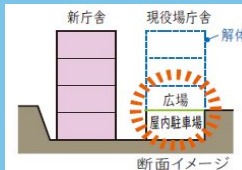
1階は自動車アクセス、2階は歩行者のメインアクセスとすることで、
歩車分離を実現します。



歩車分離イメージ

2. 今あるものを使い経済性にも優れたECO庁舎

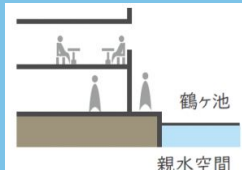
現役場庁舎の地下及び1階の一部を残して、減築・改修することで、**広場や駐車場**として再利用します。



断面イメージ

3. 周辺環境に配慮したサスティナブルな庁舎

自然豊かな環境と呼応する
“**水と緑と花**”が織りなす鶴ヶ池への眺望を活かした
親水空間を創出します。



親水空間

